

事業所で行う

消防訓練マニュアル

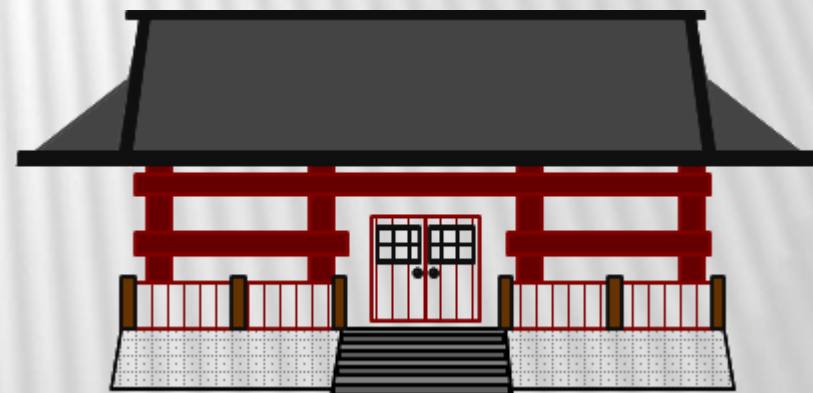
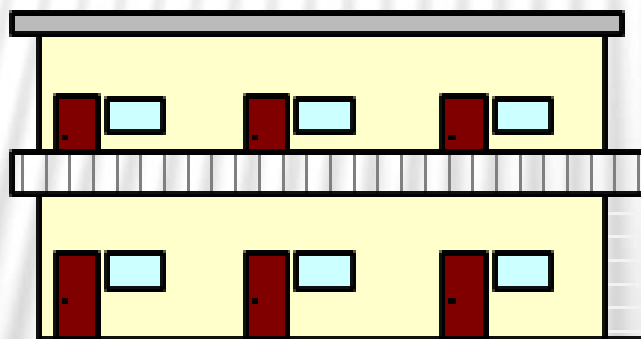
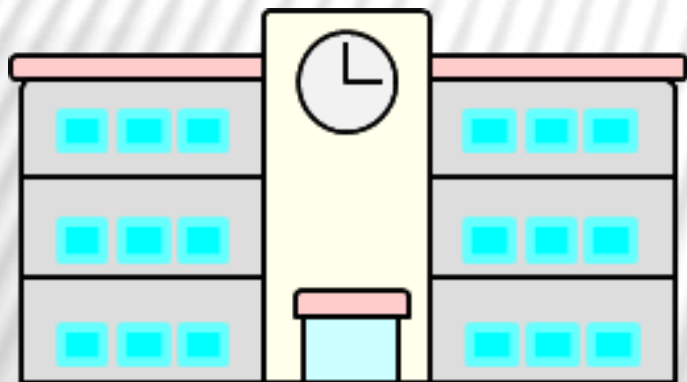
<u>1 消防訓練の実施回数</u>	P 1
<u>2 消防訓練の種類</u>	P 4
<u>3 部分訓練実施マニュアル</u>	
<u>消火訓練</u>	P 6
<u>避難訓練</u>	P 1 2
<u>通報訓練</u>	P 1 4
<u>4 総合訓練実施マニュアル</u>	P 1 9
<u>5 消防訓練の届出</u>	P 2 5

1 消防訓練の実施回数

防火管理者の選任が必要な事業所は消防訓練を実施しなければなりません。事業所の用途によって **1年に1回以上実施**しなければならない場合と、**1年に2回以上実施**しなければならない場合があります。

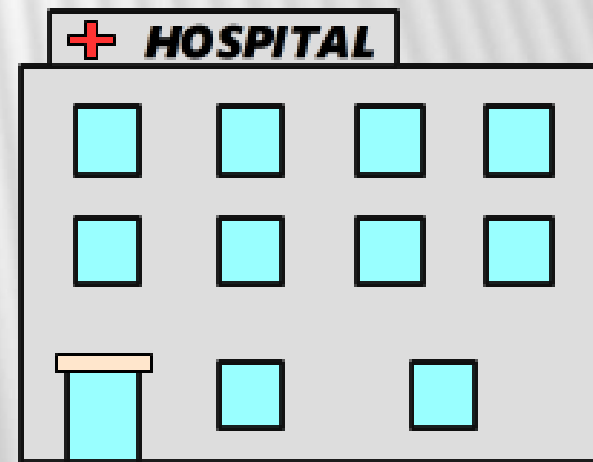
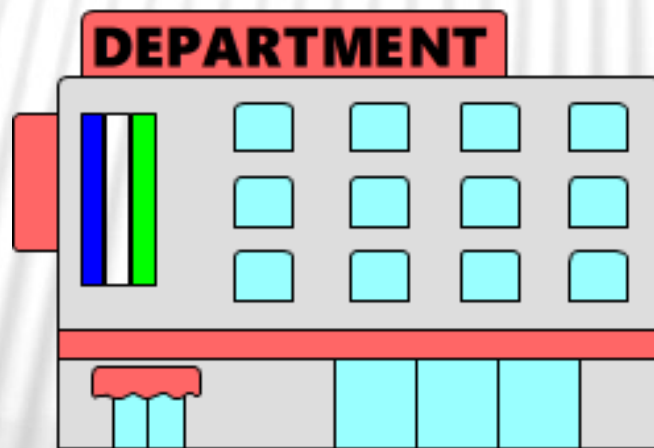
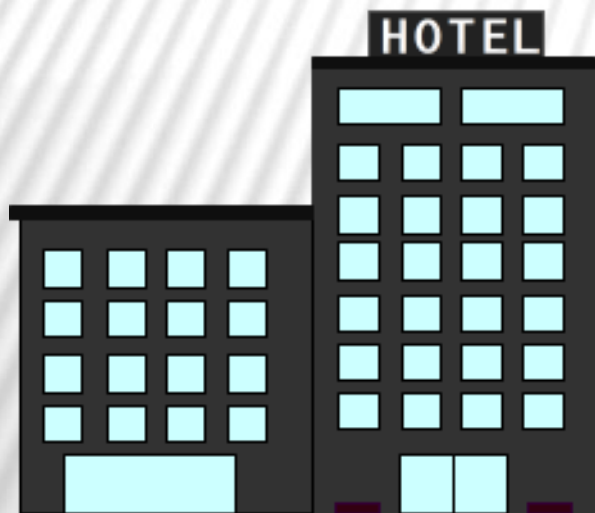
1年に1回以上実施する事業所例 (非特定防火対象物)

学校、アパート、事務所、作業所、寺院、図書館、倉庫等不特定多数の者が集まらない、または集まる人が限定的である事業所



1年に2回以上実施する事業所例 (特定防火対象物)

映画館、遊技場、飲食店、店舗、ホテル、病院、福祉施設等不特定多数の者が集まる事業所または避難が困難な者が出入りする事業所



2 消防訓練の種類

部分訓練 下記 3 つの訓練のうち、いずれか1つまたは2つの訓練を行うもの



消火訓練 消火器等の消火器具または消火設備等を利用した訓練

避難訓練 従業員等による避難誘導および自ら避難する訓練

通報訓練 実際に 1 1 9 番通報をする訓練



総合訓練 上記 3 つを組み合わせて行う訓練

消防訓練は総合訓練と部分訓練がありますが、非特定防火対象物では総合訓練を1年に1回以上実施してください。また、特定防火対象物では総合訓練を1年に1回以上、部分訓練のうち消火および避難訓練を1回以上実施することが必要です。もちろん総合訓練を2回実施していただいても大丈夫です。

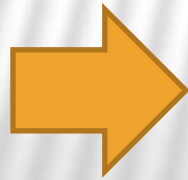
3 部分訓練実施マニュアル 消火訓練

消火訓練のみ実施する場合は、訓練用消火器等を利用して消火器の使用方法を確認します。総合訓練等で一連の流れの中で実施する場合は実際に消火器具や消火設備を使用してしまうと、訓練後の処理が大変なため、模擬動作での消火訓練を実施します。

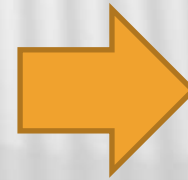
消火器を使用する場合（模擬動作の場合）

安全ピンを抜く動作

※模擬動作の場合、安全ピンは抜かないでください。



火元に向かってホースを構える動作



そのまま15秒間保持する



訓練用消火器を使用する場合（実際に放射する場合）

訓練用消火器（水消火器）を使用する場合は実際に放射して消火器の使用方法を確認します。

安全ピンを抜く



火元に向かってホースを構える



レバーを握り放射する



※各消防署・分署にて訓練用消火器の貸出を行っています。

ワンポイント

弘前地区消防事務組合では消火器の効果的な使用方法を弘前大学連携プロジェクトとして共同で研究しました。その結果が弘前地区消防事務組合のホームページにありますので、参考にしてみてください。

URL <https://www.hirosakifd.jp/yobou/shoukaki.html>

避難を優先！ 消火器の使い方 マスクは有効！

15秒 かがんで近づき 火元に SHAKE！



消火の準備 3カ条

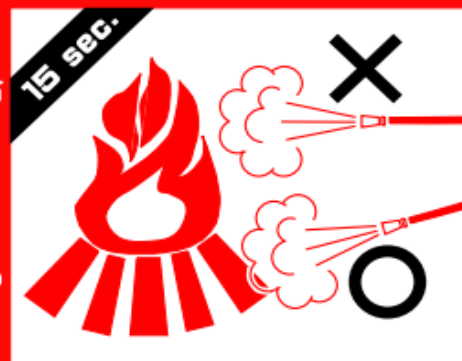
- ① 消火剤の噴射時間は、15秒程度です
- ② ピンを抜いた状態で3メートル付近まで近づく ※1
- ③ 姿勢を低くして、※2 レバーを握り噴射させます

※1) この距離まで近づかないと、『消火剤は届きません』
※2) 姿勢が高いと、熱気によってやけどを負うおそれがあります

火元にスイング 15秒！

- ④ ホースは手首を使いながら全力で左右に振ります ※3
- ⑤ 燃えているモノに対して、徐々に近づきながら手前から奥へ覆うように吹きかけます
- ⑥ 火炎の吹き返しによって、やけどを負うおそれがあるため、姿勢を低く保ちます

※3) ホースを『持つ手』や『持つ位置』が重要です



消火実験動画は下のQRコードからご覧いただけます

手前から奥へどう吹きかけるの？

【消火 成功例】



【消火 失敗例】



【吹き返し例】



(熱画像被覆)

どこに吹きかけるの？

吹き返してなんだ？

15秒ってどれくらい？

消防犬 火けしくん

（注意事項）

- 火事を発見したら大声で周囲に知らせましょう！
- 消火器は屋内に歩行距離20m以内の間隔で設置されています！
- 消火剤の噴射により周囲の視界が悪くなることがあるので、使用前に避難路を確認しましょう！
- 消火できなかったときは、あせらず姿勢を低くして避難しましょう！



弘前地区消防事務組合
・弘前大学連携プロジェクト

屋内消火栓設備を使用する場合（模擬動作）

発信機のボタンを
押す動作（模擬）



バルブを開ける
動作（模擬）

※訓練時はバルブを開けないでください。



ホースを伸ばす
（実際に伸ばす）



火点に向かって30秒
間保持する（模擬）



注意：屋内消火栓設備の中にはホースを外すことで起動するものもあります。その場合はホースを伸ばす動作も模擬動作で実施してください。

屋内消火栓設備を使用する場合（模擬動作）

前頁の屋内消火栓設備は易操作性1号消火栓、2号消火栓の例です。易操作以外の1号消火栓設備は右の写真のようにホースが蛇腹状に収納されており、接続しているホースをすべて伸ばさなければ放水できないため注意が必要です。また、操作は2人以上で行ってください。



消火訓練まとめ

- ・設置している消火器、屋内消火栓設備等の設置場所、使用方法は常に確認しておきましょう。
- ・消火器の使用可能時間は大きさによって違いはありますが、おおむね15秒程度です。効率よく使用するため訓練しておきましょう。
- ・実際の火災で火が天井に到達するくらい大きくなると消火器では消火が困難です。屋内消火栓設備で消火するか、避難誘導を優先しましょう。消火を断念した場合、火が出ている部屋の扉は閉めておきましょう。（空気の流入を防ぐことで延焼を抑制する効果が期待できます）

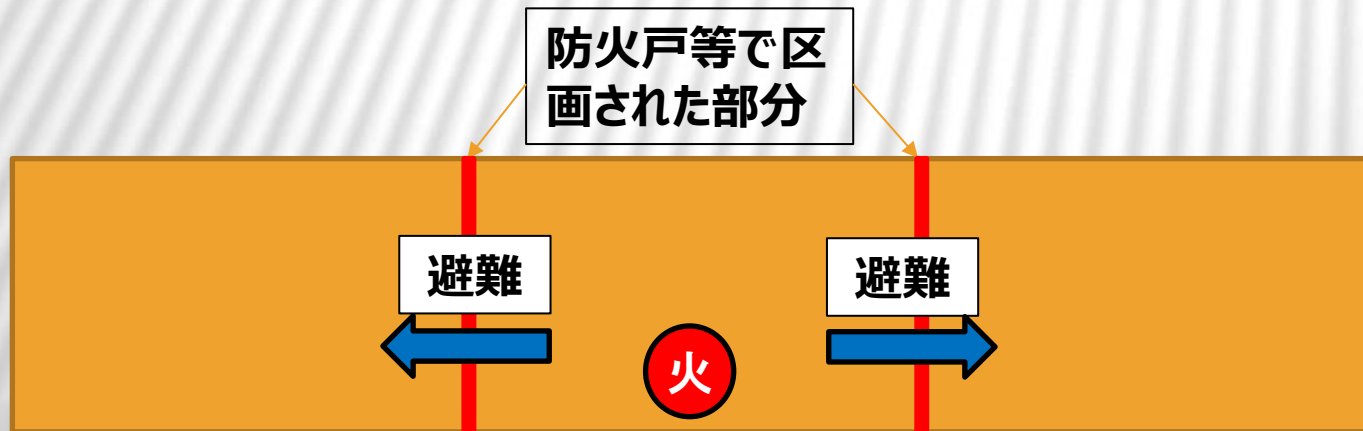
3 部分訓練実施マニュアル 避難訓練

在館者および従業員を避難させるため、避難誘導を行います。避難誘導時は、設定した**出火箇所を通らない**ように誘導することが必要です。普段からできる限り2方向以上の避難経路を確保しておきましょう。避難誘導は一気に屋外まで避難してもらうのが基本ですが、避難者の状況によっては、一時的に出火区画外の防火区画まで避難させる等の措置が必要になる場合があります。

※避難訓練は**可能な限り**実際に避難させましょう。



防火戸



防火区画とは…防火戸等で区画された部分。火災が建物全体に広がるのを防ぐために設定されている。防火戸は常時閉鎖しているものと火災発生時に自動的に閉鎖するものがあります。

避難訓練まとめ

- ・非常放送設備がある場合は積極的に活用し、避難誘導してください。
- ・避難するときは窓、扉等は閉めて避難してください。（建物内の延焼を抑制する効果があります）
- ・誘導するときは大きな声で、ハッキリと！

3 部分訓練実施マニュアル 通報訓練

電話を用いる場合

実際に事業所の電話または携帯電話で119番通報を実施します。

119番通報は「消防指令センター」につながります。まずは火事か救急かお聞きしますので、「**訓練火事です。**」と伝えてください。その後住所、燃えているもの等についてお聞きしますので、落ち着いて聞かれたことに対して答えてください。

※通報時に訓練をする旨を伝えないと消防車両が出動する場合がありますので必ず「**訓練火事です。**」と伝えてください。



©消防大「まじけん」/弘前地区消防事務組合

電話で実施する場合

実際に119番通報した場合の例です。



はい、119番です。火事ですか？救急ですか？ → **訓練**火事です。

燃えているものは何ですか？ → 燃えている（想定）ものを教えてください

住所と建物名称をお願いします。 → 事業所の住所および名称を教えてください。

火は消せそうですか？ → 消火可能かどうか（想定）教えてください。

けが人・逃げ遅れ者はいいますか？ → けが人等の有無（想定）を教えてください。

避難場所はどこに設定していますか？ → 避難場所（想定）を教えてください。

あなたのお名前と、今お使いの
電話番号をお願いします。 → 通報者の名前と使用している電話番号を教えてください。

消防機関へ通報する火災報知設備（火災通報装置） を用いる場合



消防機関へ通報する火災通報装置は自動火災報知設備と連動して自動的に通報するものと、起動ボタンを押して起動するものの2種類ありますので、事業所に設置されているものがどのタイプか把握しておきましょう。

この装置は専用の回線を使用していますので、電話で通話中であっても、ボタン一つで119通報することができます。また、通報内容も事前に録音したものが流れるため、通報にかかる時間を消火、避難誘導に充てることができます。

消防機関へ通報する火災報知設備（火災通報装置） を用いる場合



通報装置の音声終了後、消防指令センターから折り返し確認の着信がありますので、
訓練の場合は必ず受話器を取って訓練である旨を伝えてください。折り返しの着信に応答
しないと消防車が出動することがあります。

重要

※実際の火災時は初期消火および避難誘導を優先してください。余
裕があれば折り返しの着信に応答し、状況を伝えてください。

通報訓練まとめ

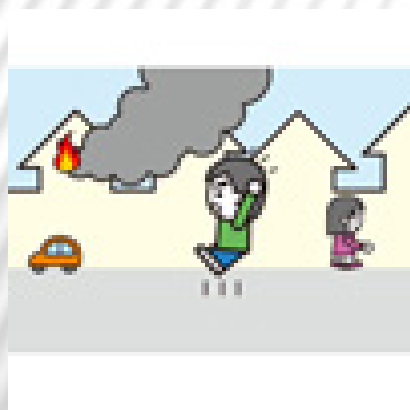
・消防機関へ通報する火災報知設備を使用する場合は使用後、復旧等が必要になる場合がありますので、復旧方法を確認したうえで実施してください。

※起動ボタンには保護カバーが取り付けられています。実際の火災時は保護カバーを押し割って起動ボタンを押しますが、訓練時はあらかじめ保護カバーを外しておき、起動ボタンを押しましょう。

・実際の災害で 1 1 9 番通報する場合、動揺して住所・電話番号がわからなくなる可能性がありますので、通報時に指令センターから聞かれる事項をあらかじめ作成し、電話の近くに備えておきましょう。

4 総合訓練実施マニュアル

総合訓練は単純に消火・避難・通報を実施するだけではなく、実際の火災を想定した訓練です。火災発生から火災発見、初期消火、119番通報、避難誘導の流れの中で組み合わせて行います。



発見



通報



初期消火



避難誘導

火災想定

出火場所、燃えているもの、延焼範囲、避難を要する者の数、避難場所などの想定を計画します。

例 給湯室から出火し、壁、天井が燃えていて、隣の部屋まで延焼している。建物内に約10名の来客があるため、避難誘導を実施する。消火作業で1名が火傷を負う。避難場所は駐車場とする。

例 玄関付近から出火し、ごみが燃えている。建物内に延焼はしていない。建物内に従業員が6名いるため各自避難する。けが人なし。避難後は隣の公園に集合する。

火災発見

従業員等が発見する想定の場合



従業員等が火災を発見した場合は、その場で大きな声で「火事だー！」と叫び、火災が発生していることを伝えます。自動火災報知設備が設置してある場合、発信機のボタンを押してベル・音声で火災発生を知らせます。

※発信機を押す場合は事前に
復旧方法を確認しておきましょう。



発信機

自動火災報知設備が作動する想定の場合

自動火災報知設備が作動する想定とした場合は、受信機により作動した箇所を確認後、現場を確認しに行きます。その後火災である旨を何らかの方法（自動火災報知設備に付属している受話器・携帯電話・大声で伝える等）により他の職員及びに在館者に伝えます。



枠内のランプが光った箇所と警戒区域一覧図を確認し、どの区画で自動火災報知設備が作動したか確認し、現場を確認します。

※自動火災報知設備の種類によってはランプが光るタイプではないものもありますので、設置しているものがどのタイプか確認しておきましょう。

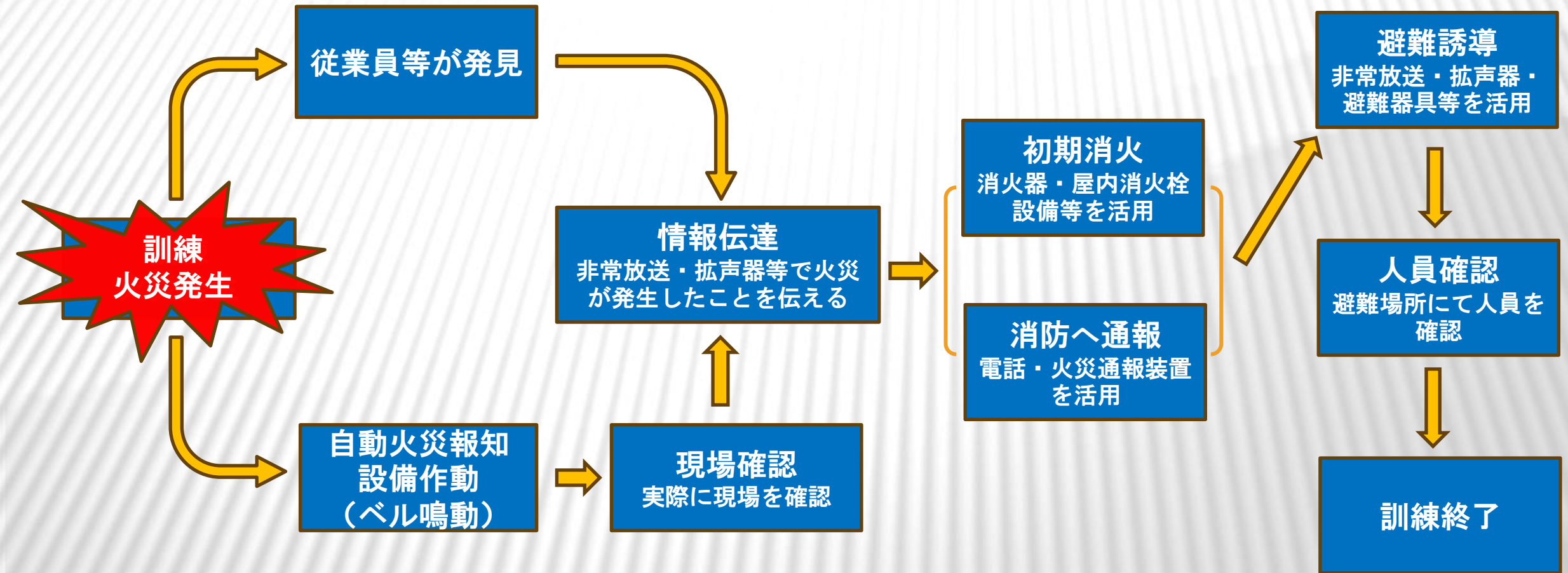
初期消火（模擬）要領、避難誘導要領、通報要領は**部分訓練を参照**してください。参加する事業所職員の人数、設置している設備によって可能であれば、すべて同時進行で実施します。

人数の関係で同時にできない場合は、基本的に初期消火、通報、避難誘導の順に実施しますが、訓練の想定によっては、その順番を前後させる必要がある場合があります。

消火・通報・避難が完了したら、避難者の確認等をして訓練は終了となります。

※消防署、分署では訓練用消火器、防火・防災に関するDVD、紙芝居の貸出もしています。借用したい場合は各消防署、分署までお問い合わせください。

消防訓練（総合訓練）の流れ



上記は従業員が**1人の場合**の消防訓練の流れです。複数人いる場合は初期消火・通報・避難誘導を同時に実施するなど、効率的な消防訓練を計画しましょう。

5 消防訓練の届出

消防訓練通知書ダウンロードページ

<https://www.hirosakifd.jp/shinsei/bouka/syouboukunnrennjissi.html>

消防訓練通知書

消防訓練を実施する場合はあらかじめ消防署または分署へ届出をしてください。当事務組合のホームページには「消防訓練を実施する前日までに届出してください。」となっていますが、余裕をもって届出してください。特に消防職員の派遣を依頼する場合や、訓練用消火器などの資機材を借用したい場合は早めに届出していただけないとご希望に添えないことがあります。

消防訓練結果通知書

消防訓練**結果**通知書は**任意**の届出です。届出義務はありませんが、事業所等で必要に応じて届出してください。受付してその場で副本をお返しします。

火災が発生したとき、訓練を実施している場合としていない場合では動きに**大きな違い**が出ます。

いざというときスムーズに動けるように消防訓練を定期的に実施しましょう。

お問い合わせは各消防署、分署、予防課まで

